

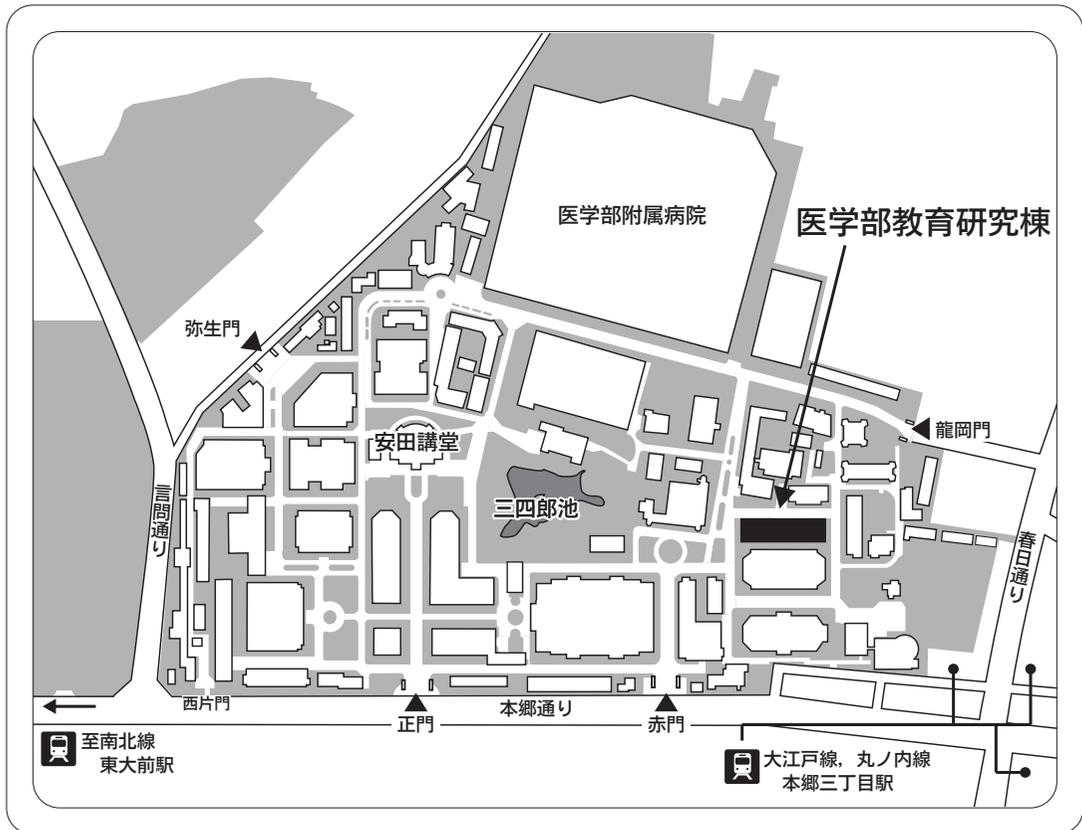
第 568 回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成 21 年 9 月 12 日 (土) 午後 2 時 00 分

場 所 東京大学鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)



演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録 (160字以内) をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録 (200字以内) を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係
東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

会場係

東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

事務局

03 (5388) 7 0 0 7
e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp

菊地 陽

渡辺 博

第 568 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:40

座長 大久保 淳 (東京大学医学部小児科)

1) 皮膚色蒼白以外に症状を認めなかった胎児母体間輸血症候群の 1 例

○白井 晴己, 緒方 大輔, 松島 崇浩, 有馬ふじ代, 込山 修, 岩田 敏

(国立病院機構東京医療センター小児科)

在胎 38 週 2 日, 骨盤位のため帝王切開術で出生した男児。日齢 1 の診察で皮膚色蒼白があり, Hb 8.2g/dl, 母体末梢血の HbF 及び AFP の上昇から上記診断に至った。呼吸器症状を認めず哺乳, 体重増加良好で, 鉄剤投与のみで貧血の改善を認めた。若干の文献的考察を含め報告する。

2) 多発性リンパ管血管腫に頭蓋内病変を伴った 1 例

○的場 香織, 河野 淳子, 神野 聡子, 西山由梨佳, 岡野恵里香, 小林 正久, 井田 博幸

(東京慈恵会医科大学小児科)

患児は, 在胎 32 週より胎動の減弱, 脳室拡大, 胎児水腫を認め, 胎児 MRI で腹腔内, 右大腿に巨大多房性腫瘍を認めた。在胎 34 週, 胎児水腫のため帝王切開で出生し, 腹部エコーよりリンパ管血管腫と診断した。また, 頭部 CT で脳幹部に腫瘤を認め, これが水頭症の原因と考えられた。リンパ管血管腫に脳幹部病変を伴うことは稀であり報告する。

3) 自己免疫性好中球減少症の 1 例

○齊藤 綾, 新森加奈子, 小室 久子, 近藤 慶幸, 近田 照己, 服部 圭太

(河北総合病院小児科)

渡邊伊知郎 (清瀬小児病院小児科)

下痢, 発熱を主訴に来院し, 好中球減少を認めた 8 カ月女児。感染に伴う一過性の減少と考え経過観察するも, 症状改善後も上昇しなかった。間接蛍光抗体法により抗好中球抗体を確認し, 自己免疫性好中球減少症と診断した。以後, 重症感染を発症せず経過している。本疾患は自然治癒し, 確定診断により不要な検査や治療を避けることができる。

4) イホマイド脳症の 1 例

○遠藤 明史, 高木 正稔, 青木 由貴, 小野 敏明, 長澤 正之, 森尾 友宏, 山本 敦子, 荒木 聡, 水谷 修紀

(東京医科歯科大学大学院発生病態学・小児科)

滑膜肉腫の女児にイホマイドを含む多剤併用化学療法を施行したところ傾眠傾向となり, 脳波で徐波が認められ, イホマイド脳症が疑われた。メチレンブルーの投与により症状は軽快した。その後の治療においてもイホマイドはキードラッグと考えられ, メチレンブルーを併用しつつ投与を行ったところ, 脳症の発症なく安全に投与することができた。

第 2 グループ 14:40—15:30

座長 新庄 正宜 (慶應義塾大学小児科)

5) 急速に呼吸不全が進行し死亡した百日咳の新生児例

○趙 麻美, 金丸 浩, 日根幸太郎, 田口 洋祐, 中村 隆広, 市川 理恵, 福原 淳示, 松村 昌治, 鮎沢 衛, 住友 直方, 岡田 知雄, 麦島 秀雄 (日本大学板橋病院小児科)

急性呼吸不全で死亡した新生児期百日咳症例を報告する。日齢 30 の新生児。同居家族に咳嗽を認め, 細気管支炎の診断で入院した。白血球 14,700/ μ l, リンパ球 60.0%, CRP 1.37mg/dl, 百日咳抗体 (山口株) 80 倍。PIP 投与, ステロイドパルス療法, 呼吸管理等を施行したが死亡し, 喀痰から百日咳菌が同定された。

指定発言 橋本 光司 (日本大学練馬光が丘病院小児総合診療科)

6) 大腸菌血流感染による ALTE の 1 例

○長 佳美, 近藤 信哉, 小濱 雅則, 塩津 麻美 (多摩北部医療センター小児科)
長谷川行洋, 斉藤 友康, 森野紗衣子 (東京都立清瀬小児病院)

症例は 2 カ月男児。妊娠 38 週, 帝王切開分娩, 発達発育は正常範囲。来院時体温 37.6°C, CRP 0.28 mg/dl, WBC 15,000/ μ l だったが洞頸脈 250/分と心不全を認めた。入院時の血液・咽頭培養から大腸菌を分離。抗菌薬治療で全身状態は安定し, 心機能も正常化した。本例は細菌感染が関与した ALTE と考えられた。

指定発言 小保内俊雄 (多摩北部医療センター小児科)

7) 当科で経験した腸チフス症例について

○江塚 明子, 栗屋 敬之, 倉繁 朋子, 池野 充, 北村 知宏, 宮崎 菜穂,
渡辺 直樹, 高田 昌亮 (東京都保健医療公社豊島病院小児科)

6 カ月男児, バングラディッシュ人。来日 11 日目に発熱出現し近医にてウイルス感染症と診断。14 日目に大学病院受診し CDTR-PI 処方。16 日目に敗血症・腎盂腎炎疑いにて紹介。下痢症状は弱かったが, 血液培養よりチフス菌が検出され診断に至った。近年の輸入感染症の増加に伴い, 診断に注意を要するため報告する。

8) ロタウイルス胃腸炎から腎不全ならびに重度心不全を呈した 1 例

○櫻谷 浩志, 原 聡, 染谷朋之介, 三友 聡美, 安部 信平, 青柳 陽, 鈴木 光幸,
和田万里子, 春名 英典, 藤井 徹, 佐藤 圭子, 高橋 健, 清水 俊明
(順天堂大学小児科)

1 歳 5 カ月男児。ロタウイルス胃腸炎, 脱水症の診断で第 5 病日に近医入院。輸液を行うも利尿なく, 翌日腎機能も悪化, 全身浮腫も出現した。腹部超音波にて両側水腎症, CT 上尿路結石を認め, 腎後性腎不全を疑われ当院転院。外科的処置は困難と判断し透析導入。5 日後には利尿を認めた。経過中, 重度の心不全も合併し治療に難渋した。

休 憩 15:30—15:40

感染症日より 15:40—15:50

座長 山本 光興 (山本小児科)

多屋 馨子 (国立感染症研究所感染症情報センター)

新型インフルエンザ診療体制に関する小児科学会からの依頼

教育講演 15:50—16:30

座長 岡 明 (杏林大学小児科)

乳幼児眼疾患の早期発見と治療

仁科 幸子 (国立成育医療センター眼科)

乳幼児の眼疾患は視覚刺激を遮断して弱視を形成するおそれがあるため早期発見・治療が鉄則である。近年, 先天白内障, 早発型発達緑内障, 網膜芽細胞腫などの重症眼疾患においても, 早期治療によって良好な視機能が得られる可能性が拡大しているが, 特に片眼性では症状に乏しく発見が遅れがちである。眼科には, 家族が何らかの症状を見つけて受診する他に, 小児科や乳児健診を契機に受診するケースが多い。本講演では, 重症眼疾患の治療の現状について解説し, 早期発見と連携のために, 小児科日常診療に役立つ情報を提供したい。

第3グループ 16:30—17:45

座長 元吉八重子（東京医科歯科大学小児科）

9) 潰瘍性大腸炎と低身長を合併した自己免疫性肝炎の1女児例

○井口 梅文, 北岡照一郎, 阪井 裕一 (国立成育医療センター総合診療部)
清水 泰岳, 肥沼 幸, 新井 勝大 (同 消化器科)

潰瘍性大腸炎と低身長を合併した自己免疫性肝炎の7歳女児例を経験した。1歳時に慢性下痢と間歇的血便が出現。4歳時の精査にて診断には至らず7歳時に下痢の増悪にて前医受診した際、肝脾腫、肝胆道系酵素上昇、貧血を認め、当院紹介となった。下部消化管内視鏡、肝生検にて、全結腸型潰瘍性大腸炎および自己免疫性肝炎と診断した。

指定発言 肥沼 幸（国立成育医療センター消化器科）

10) 15年の治療経過でDペニシラミンによる半月体形成性腎炎(RPGN)を発症した1例

○林 麻衣子¹⁾³⁾, 松本 真輔¹⁾, 濱田 陸¹⁾, 岡本正二郎¹⁾, 稲葉 彩¹⁾, 坂井 智行¹⁾,
濱崎 祐子¹⁾, 石倉 健司¹⁾, 幡谷 浩史¹⁾, 本田 雅敬¹⁾, 井澤 雅子²⁾, 長谷川行洋²⁾
(東京都立清瀬小児病院腎臓内科)¹⁾, (同 内分泌代謝科)²⁾, (東京都立大塚病院小児科)³⁾

21歳女性。5歳でWilson病と診断され、Dペニシラミンの内服を開始し、原病の管理は良好であった。18歳から血尿が出現し、20歳の定期検診でCr 1.92mg/dlと急激な悪化を認め、腎生検で半月体形成性腎炎と診断された。本剤による腎障害は、1年以内に発症する膜性腎症の報告が多い。本症例では15年の経過でRPGNを合併した。本剤治療中は常に腎症を念頭において管理が必要である。

指定発言 清水 教一（東邦大学医療センター大橋病院小児科）

11) 好酸球性膀胱炎の1例

○児島 克明, 粟津 緑, 篠原 尚美, 前田 潤, 山岸 敬幸, 高橋 孝雄
(慶應義塾大学小児科)
井手 広樹, 服部 盛也, 大家 基嗣 (同 泌尿器科)
三上 修治 (慶應義塾大学病院病理診断部)

27歳男性。Fallot四徴症術後。心不全コントロールのため入院時、好酸球60%に気づかれた。入院後、排尿時痛、肉眼的血尿出現、超音波、MRIで膀胱壁の著明な肥厚を認めた。尿中好酸球陽性であり好酸球性膀胱炎が疑われ、膀胱生検により確定診断された。DLST、総IgE、特異的IgEは陰性であり原因は特定できなかった。

指定発言 幡谷 浩史（東京都立清瀬小児病院腎臓内科）

12) 当院で経験した非心原性肺水腫の8例

○清水 伸泰, 松岡 祐加, 高島 和章, 小寺 美咲, 奥村さやか, 仁後 綾子, 柳原 知子,
和気 彰子, 榊原 裕史, 松岡 典子, 小鍛冶雅之, 寺川 敏郎, 横路征太郎
(都立府中病院小児科)
下田木の実 (都立神経病院小児科)
小高 学 (わだ小児科・循環器内科)

過去30年間で8例の非心原性肺水腫を経験した。その内訳は、けいれんに伴う神経原性肺水腫4例、溺水に伴う肺水腫2例、急性喉頭蓋炎などの上気道閉塞疾患に伴う肺水腫2例であった。小児科領域において非心原性肺水腫に遭遇することは比較的稀であり、その病態ならびに治療法について、文献的考察も含め報告する。

指定発言 齊藤 修（国立成育医療センター手術・集中治療部）

13) 不明熱精査にて先天性無痛無汗症が考えられた生後3カ月の1男児例

○柴村 美帆, 狩野 博嗣, 桃井 貴裕, 細井 洋平, 小太刀康夫, 三浦健一郎,
高橋 和浩, 磯島 豪, 北中 幸子, 五十嵐 隆 (東京大学小児科)
黒澤 照喜, 寺川 敏郎, 横路征太郎 (都立府中病院小児科)

不明熱精査にて先天性無痛無汗症が考えられた症例を経験したので報告する。理学所見および血液・尿・画像検査では感染症、悪性腫瘍、リウマチ性疾患は否定的であった。採血の際の疼痛刺激に対して反応が乏しく、知覚神経の伝導速度検査でも刺激に対して振幅の有意な低下がみられた。発汗試験にて無汗の所見。現在、遺伝子検査を施行中である。

指定発言 粟屋 豊（聖母病院小児科）

【平成21年第2回幹事会報告】

1. 報告事項

- 1) 平成21年度庶務中間報告
会員数 1,877 名, 新入会者数 100 名, 退会者数 42 名, 講話会参加者数平均 256 名
- 2) 第34回東日本小児科学会
11月23日(月・祭) 会長: 桃井真理子教授(自治医科大学小児科)
場所: 自治医科大学地域医療情報センター大講堂
- 3) 幹事総数変更 現在 86 名(退会に伴い1名減)

2. 審議事項

- 1) 平成21年度収支中間報告
- 2) 「子どもの健康週間」事業計画について: 例年通りに
- 3) 名誉会員推薦の件: 11月末日までに候補者を推薦いただきたい。
- 4) 幹事選挙日程について: 平成21年度は幹事改選の年にあたる。
選挙人, 被選挙人は 1,518 名, 幹事総数 101 名
- 5) 教育講演講師料および指定発言者謝礼の改訂について
教育講演講師料 会員 50,000円
非会員 70,000円 + 交通費実費(関東地方)
非会員 100,000円 + 交通費実費(関東地方以外)
指定発言者謝礼 会員 5,000円
非会員 10,000円 + 交通費実費

以上, 5件の審議事項はすべて承認された。

【運営委員会だより】

1. 5月の講話会出席者は229名, 新入会員5名, 退会者0名, ベビーシッタールーム利用者は7名でした。
2. 本年度(平成21年度)のこどもの健康週間事業に関し, 担当大学等の確認が行われました。

【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には, その旨を明示して下さい。動画使用の場合には, 具体的な注意事項を, 折り返し事務局よりご連絡いたします。
- 原則として指定発言をつけて下さい。
- 演題の締切は次のようになります。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1月	前年11月30日	5月	2月28日	9月	6月31日
2月	前年12月31日	6月	4月30日	10月	8月31日
3月	1月31日	7月	5月31日	12月	9月31日

申込演題が12題以上になった場合, さらに1回先になることがありますのでご了承ください。
その場合, 事務局よりご連絡します。

【演者の先生方へのお願い】

一次抄録は160字以内に。また, 二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く, 明確に伝えるために, 最後(または適切な時期)にTake Home Message(この発表から学ぶこと)を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅, 勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または, 改姓があった場合は, 速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL: 03(5388)7007/FAX: 03(5388)5193

Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1、2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

動画が含まれる場合には、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ずご連絡ください。なお、当日なんらかの理由でうまく作動しない場合には、動画なしでご発表いただくことになることをご了承ください。

※ Vista には未対応です。Mac は使用できません。あらかじめファイルを Windows にて保存し直した上でご持参ください。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

事務所の移転とともに住所が変わりましたのでお知らせ申し上げます。

〒160-8306 東京都新宿区西新宿 5-25-11 ㈱日本小児医事出版社内

WAKODO

乳幼児用イオン飲料

アクアライト ORS

乳幼児の電解質・水分補給を新提案！

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を 200mOsm/L と低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社

お客様相談室フリーダイヤル
☎0120-88-9283

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp